

平成27年度 鳥取県道路交通渋滞対策部会

日時：平成27年9月30日(水) 13:30～15:00

場所：鳥取県庁 第2庁舎4階 第32会議室

会 議 次 第

1. 開会

2. 議事

- 1) 鳥取県における主要渋滞箇所のモニタリングについて
- 2) 対策箇所の進捗状況報告について
- 3) その他

3. 閉会

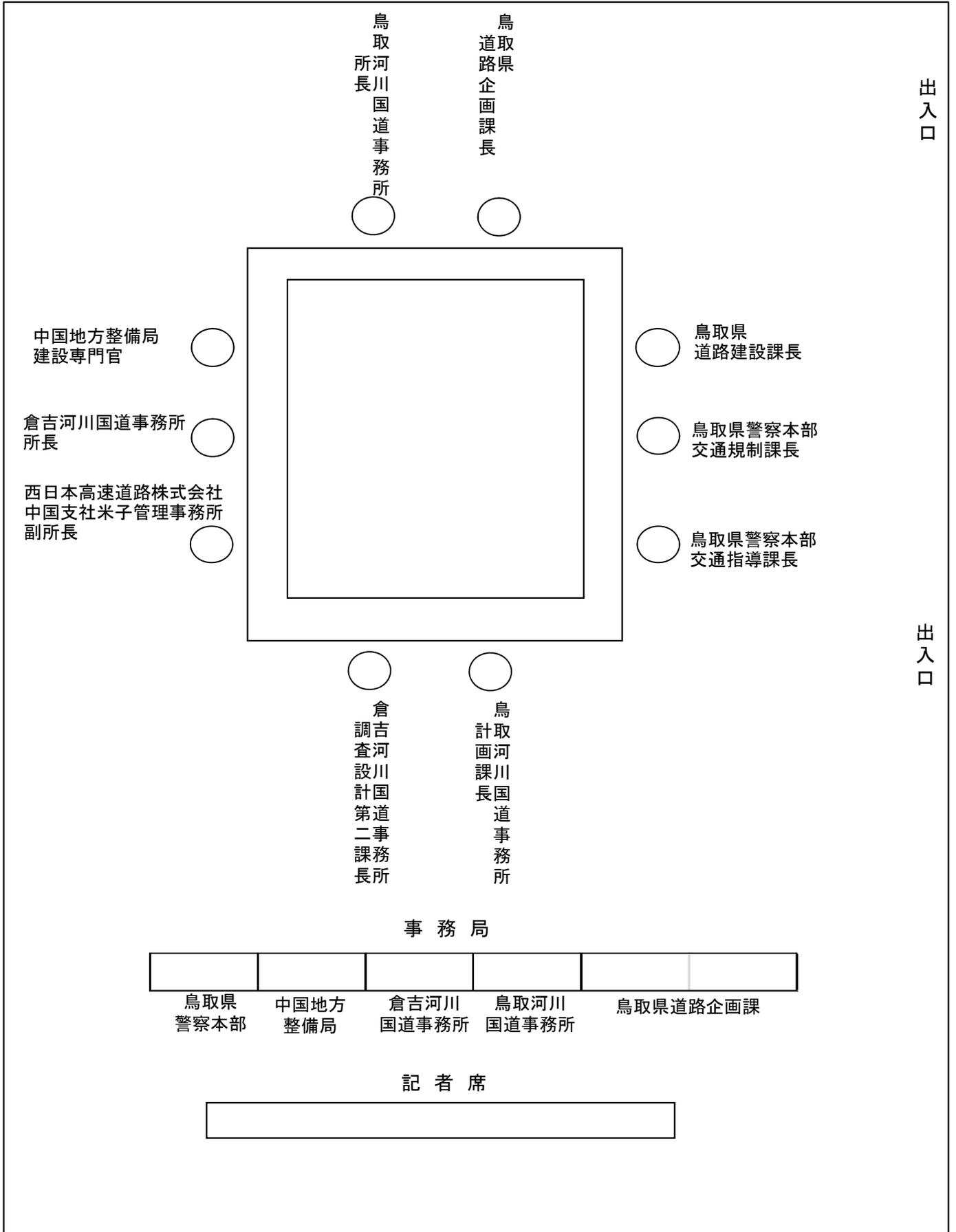
<配布資料>

- ・出席者名簿、配席表
- ・資料1 本編資料

平成27年度 第1回 鳥取県道路交通渋滞対策部会 出席者名簿

所属名	役職名	氏名	
中国地方整備局 道路部 鳥取河川国道事務所 倉吉河川国道事務所	建設専門官	前田 文雄	
	道路計画課	原 佑輔	
	所長	田宮 佳代子	
	計画課長	河井 知久	
	計画課 企画係長	横田 仁明	
	所長	藤原 光雄	
	調査設計第二課長	小田 嘉幸	
	調査設計第二課 調査設計係長	西本 幸司	
	西日本高速道路株式会社 中国支社米子管理事務所	副所長	大田 州一
鳥取県警察本部 交通部	交通規制課長	大家 孝夫	
	交通指導課長	柴田 亙	
	交通規制課 規制第二係長	竹内 浩司	
鳥取県 県土整備部	道路企画課長	山内 政己	
	道路建設課長	河田 英明	
	道路企画課 企画調査担当 課長補佐	森 泰雄	
	道路企画課 企画調査担当 係長	廣田 繁雄	
	道路企画課 企画調査担当 土木技師	端詰 将範	

平成27年度 第1回 鳥取県道路交通渋滞対策部会 配席表



平成27年度
第1回鳥取県道路交通渋滞対策部会

平成27年9月30日(水)

鳥取県道路交通渋滞対策部会

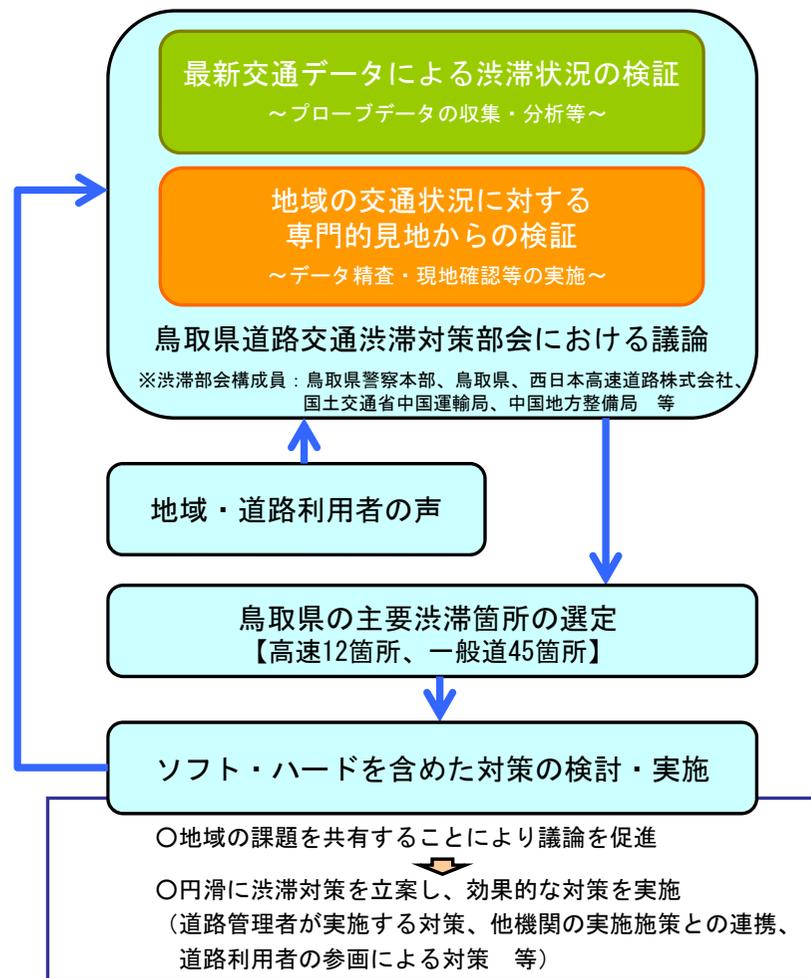
1. 渋滞部会の目的と検討経緯P.1
・鳥取県道路交通渋滞対策部会の目的と検討経緯	
2. 主要渋滞箇所のフォローアップP.3
・主要渋滞箇所(位置図)及び主要道路の開通状況(県全域)	
・渋滞状況のモニタリング	
3. 整備効果の検証(平成25年度完成箇所)P.9
・国道9号 鳥取西道路(鳥取IC～鳥取西IC)	
・山陰道(赤碕中山IC～名和IC)	
・国道313号 倉吉道路(倉吉IC～倉吉西IC)	
4. ソフト施策の検証P.14
・観光地の渋滞対策(鳥取砂丘周辺における渋滞対策の取り組み)	
5. ハード施策の取り組みについてP.16
・ボトルネック対策①(県道伏野覚寺線 免許センター交差点)	
・ボトルネック対策②((主)秋里吉方線 産業道路交差点)	

1. 渋滞部会の目的と検討経緯

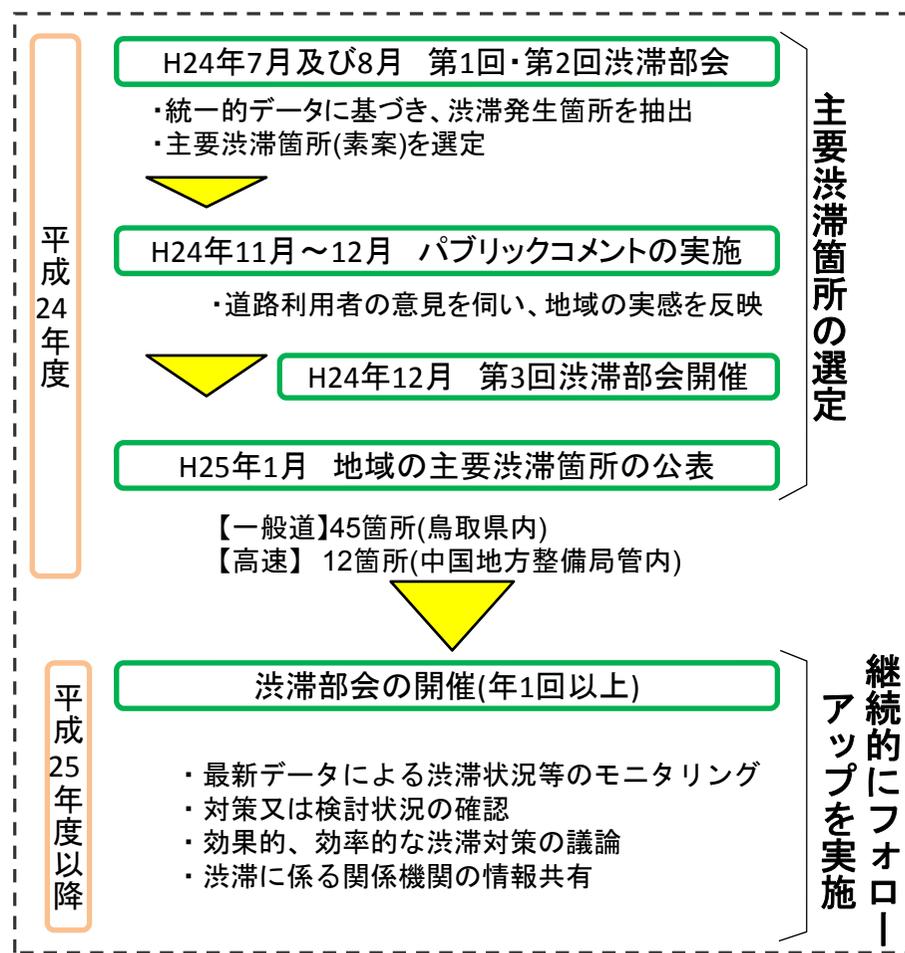
鳥取県道路交通渋滞対策部会の目的と検討経緯

- 【目的】・鳥取県道路交通渋滞対策部会(以降、渋滞部会)は、鳥取県内における道路の渋滞対策を効率的に進めていくために、関係機関が渋滞箇所の渋滞原因や課題、効果的・効率的な渋滞対策を議論することを目的とする。
- 【検討経緯】・平成24年度は、統一的データに基づき、渋滞発生箇所を抽出。道路利用者等の意見を踏まえて、平成25年1月に「地域の主要渋滞箇所」を選定し、公表。
- ・平成25年度以降、渋滞部会において、主要渋滞箇所のモニタリング、効果的・効率的な渋滞対策について議論を行い、フォローアップを実施。

◆ 取り組みの流れ



◆ これまでの取り組み(検討経緯)



2.主要渋滞箇所のフォローアップ

主要渋滞箇所(位置図)及び主要道路の開通状況(県全域)

- ・鳥取県内の主要渋滞箇所(一般道)45箇所の位置及び平成25年度以降に開通した主な路線は下図のとおり。
- ・主要渋滞箇所に影響を及ぼす可能性のある道路の開通は、東部地区の国道9号鳥取西道路(鳥取IC～鳥取西IC間 L=1.8km)及び中部地区の国道313号倉吉道路(倉吉IC～倉吉西IC間 L=3.3km)となっている。

鳥取県の主要渋滞箇所(一般道)

主要渋滞箇所数	エリア数	区間数(エリア外)	箇所数(単独渋滞箇所)
45箇所	2エリア(鳥取、米子) ・6区間 ・30箇所が含まれる	1区間 ・2箇所が含まれる	13箇所



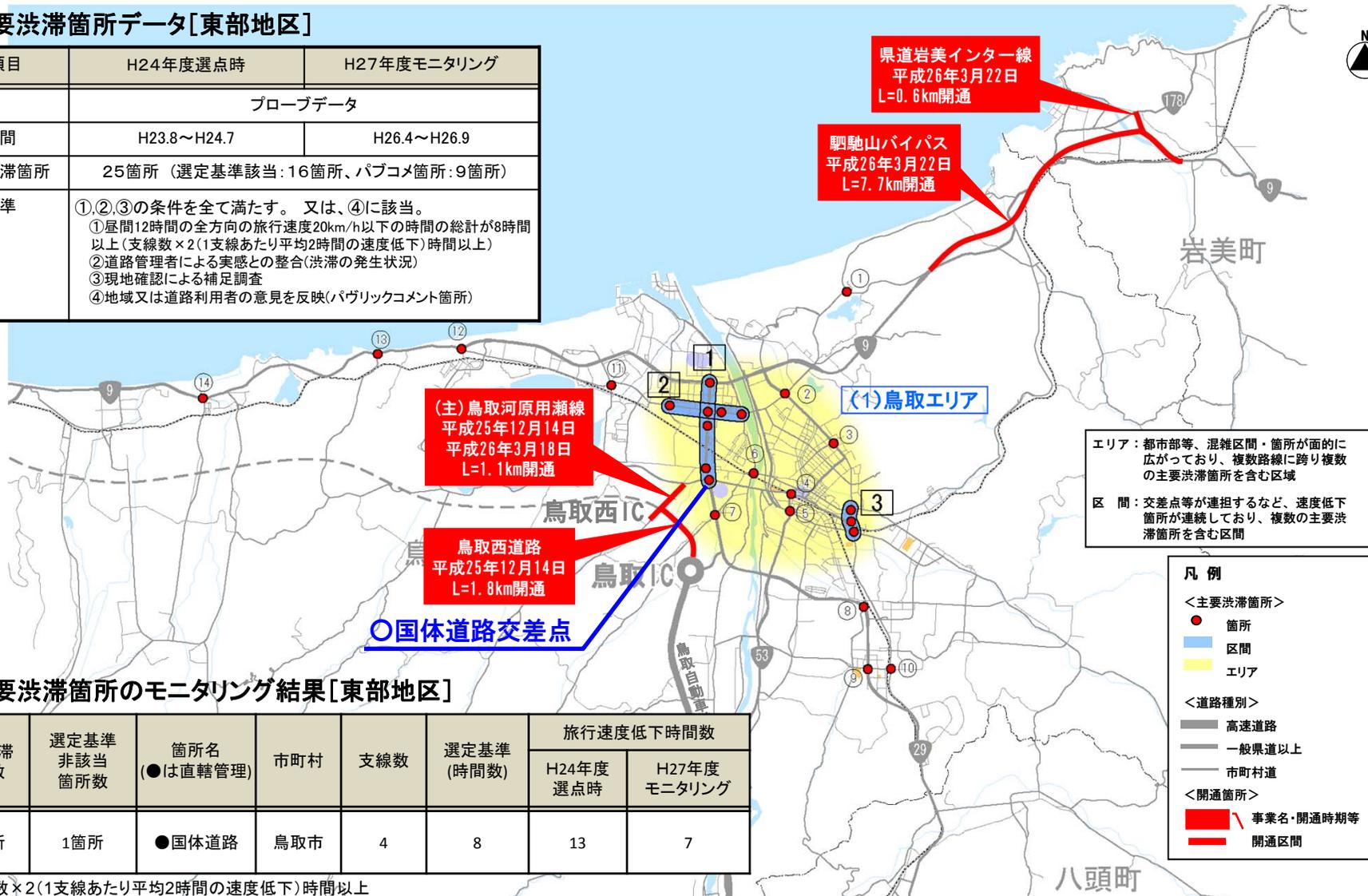
渋滞状況のモニタリング（東部地区）

①モニタリング結果

- 鳥取県東部の主要渋滞箇所25箇所に対するモニタリングの結果は、**国道29号国体道路交差点（鳥取市）** 1箇所が**選定基準を下回る**結果となり、主要渋滞箇所特定解除の対象となっている。他の24箇所については、渋滞状況に大きな変化は無い。
- 選定基準を下回った国体道路交差点では、渋滞対策（H24交差点改良、H25鳥取西道路開通）による旅行速度の改善が発現しているが、次年度において基準値を上回る恐れがあるため、2年間の上半期データでモニタリングを行うこととし、**次年度（H28渋滞部会）においても基準を下回る場合は、渋滞部会の合意を得たうえで、特定解除**を行いたい。

◆主要渋滞箇所データ[東部地区]

項目	H24年度選点時	H27年度モニタリング
データ	プローブデータ	
集計期間	H23.8~H24.7	H26.4~H26.9
主要渋滞箇所	25箇所（選定基準該当：16箇所、パブコメ箇所：9箇所）	
選定基準	①②③の条件を全て満たす。又は、④に該当。 ①昼間12時間の全方向の旅行速度20km/h以下の時間の総計が8時間以上（支線数×2（1支線あたり平均2時間の速度低下）時間以上） ②道路管理者による実感との整合（渋滞の発生状況） ③現地確認による補足調査 ④地域又は道路利用者の意見を反映（パブリックコメント箇所）	



◆主要渋滞箇所のモニタリング結果[東部地区]

主要渋滞箇所数	選定基準非該当箇所数	箇所名 (●は直轄管理)	市町村	支線数	選定基準 (時間数)	旅行速度低下時間数	
						H24年度選点時	H27年度モニタリング
25箇所	1箇所	●国体道路	鳥取市	4	8	13	7

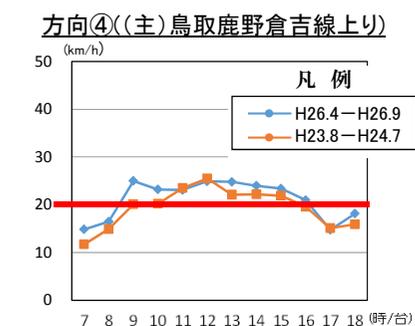
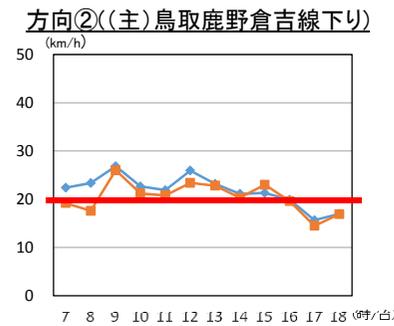
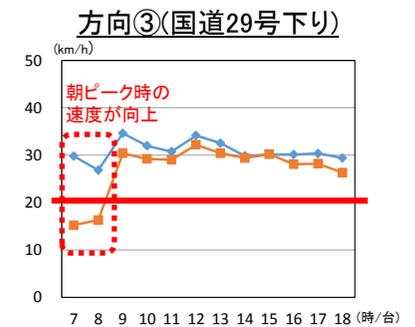
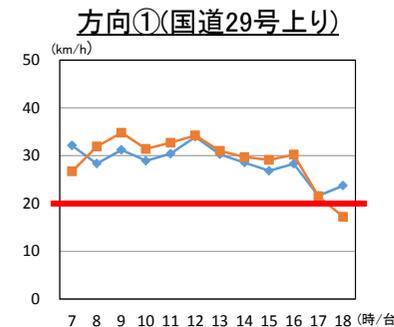
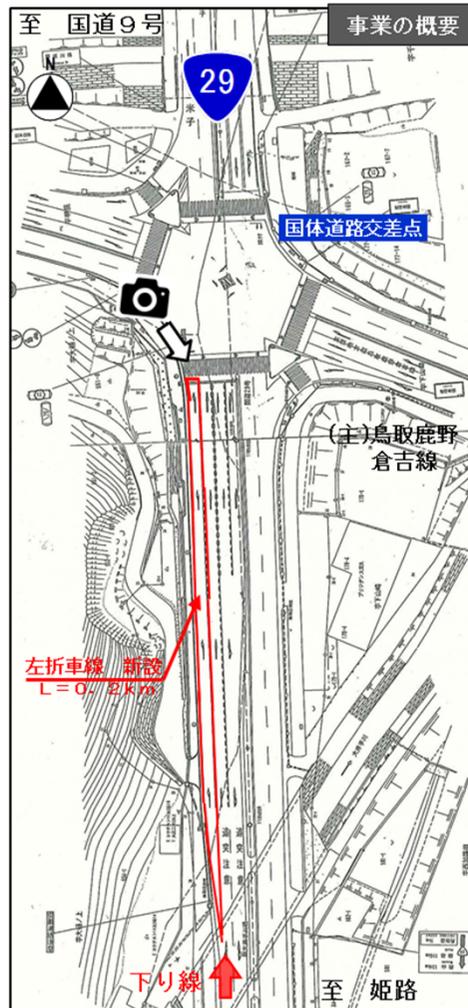
※支線数×2（1支線あたり平均2時間の速度低下）時間以上

渋滞状況のモニタリング(東部地区)

②国道29号国体道路交差点 詳細

- ・国体道路交差点改良事業は、鳥取市徳尾地内の国道29号国体道路交差点における渋滞緩和と交通事故の軽減を目的とした、交差点改良事業(事故ゼロプラン対策)。国道29号下り線の左折レーンの整備(増設)が平成24年5月に完了。
- ・方向③においては、朝ピーク時の速度向上が見られるが、夕ピーク時には、全方向とも大きな変化はない。
- ・交差点全体としては渋滞状況の改善が見られるが、基準となる20km前後の旅行速度が多いことから**今期は経過観察とし、次年度データの結果をもって、特定解除の判断を行いたい。**

■国体道路交差点における方向別旅行速度データの変化 20km/h以下時間数 H24選定時:13h ⇒ 最新データ:7h



<補足> 渋滞対策関連事業及びモニタリング結果

- ・H25年1月 主要渋滞箇所特定 ※H23年通年データ(20km/h以下:13時間>8時間)
- 事業実施 {
 - H24年5月 交差点改良事業完成(国道29号下り左折レーン新設)
 - H25年12月 鳥取西道路(鳥取IC~鳥取西IC間)開通
- ・H26年度 渋滞部会 ※H25年上半期データ(20km/h以下:14時間>8時間)
- ・H27年度 渋滞部会 ※H26年上半期データ(20km/h以下:7時間<8時間)

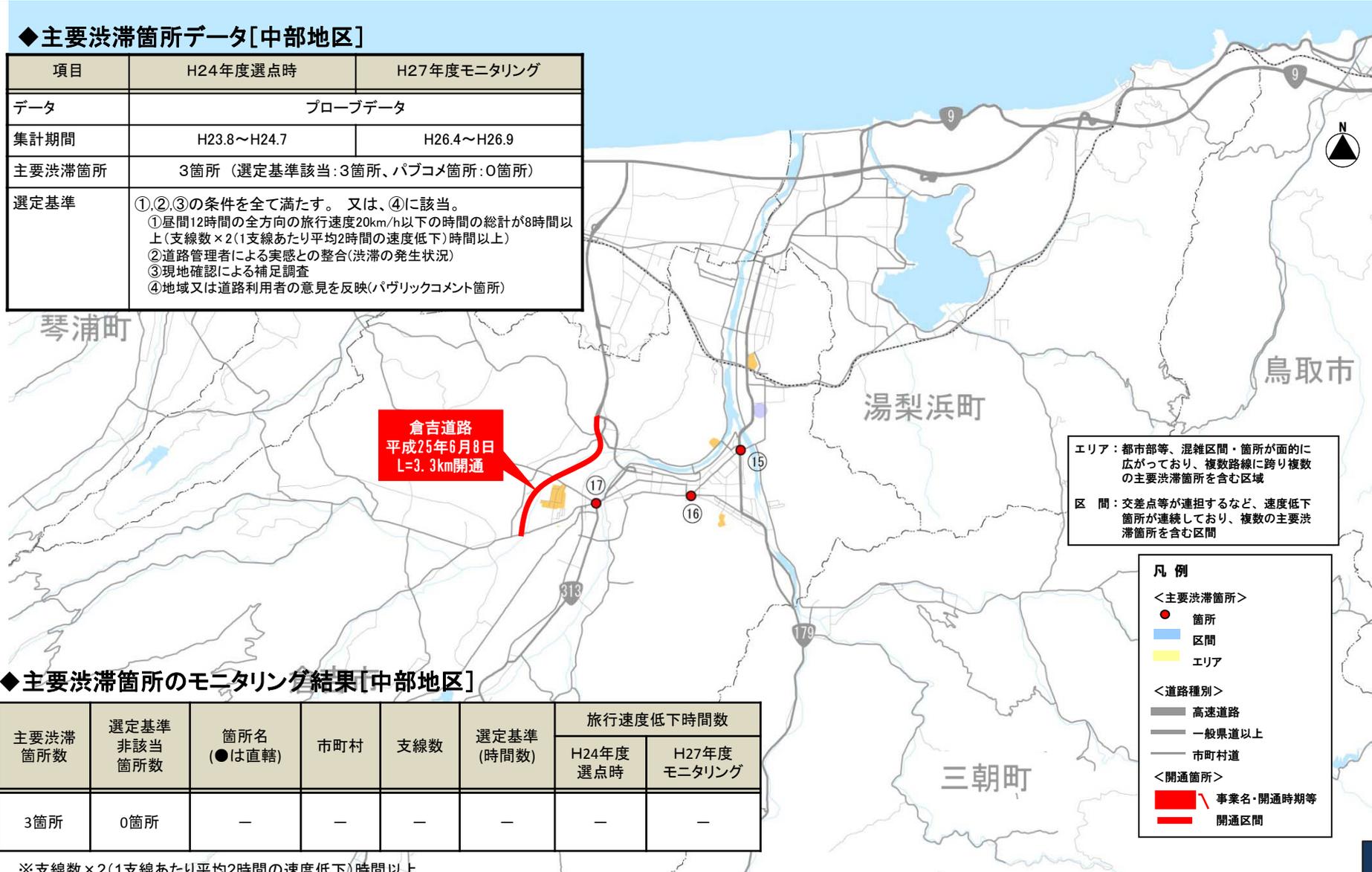
渋滞状況のモニタリング（中部地区）

①モニタリング結果

- ・鳥取県中部の主要渋滞箇所3箇所に対するモニタリングの結果、渋滞状況に大きな変化はなかった。
- ・最新のデータを用いたモニタリングの結果、新たに選定基準に該当する交差点はなかった。
- ・今後もモニタリングを実施し、渋滞箇所の判断を行う。

◆主要渋滞箇所データ[中部地区]

項目	H24年度選点時	H27年度モニタリング
データ	プローブデータ	
集計期間	H23.8~H24.7	H26.4~H26.9
主要渋滞箇所	3箇所（選定基準該当：3箇所、パブコメ箇所：0箇所）	
選定基準	①、②、③の条件を全て満たす。又は、④に該当。 ①昼間12時間の全方向の旅行速度20km/h以下の時間の総計が8時間以上（支線数×2（1支線あたり平均2時間の速度低下）時間以上） ②道路管理者による実感との整合（渋滞の発生状況） ③現地確認による補足調査 ④地域又は道路利用者の意見を反映（パヴリックコメント箇所）	



◆主要渋滞箇所のモニタリング結果[中部地区]

主要渋滞箇所数	選定基準非該当箇所数	箇所名 (●は直轄)	市町村	支線数	選定基準 (時間数)	旅行速度低下時間数	
						H24年度選点時	H27年度モニタリング
3箇所	0箇所	-	-	-	-	-	-

※支線数×2（1支線あたり平均2時間の速度低下）時間以上

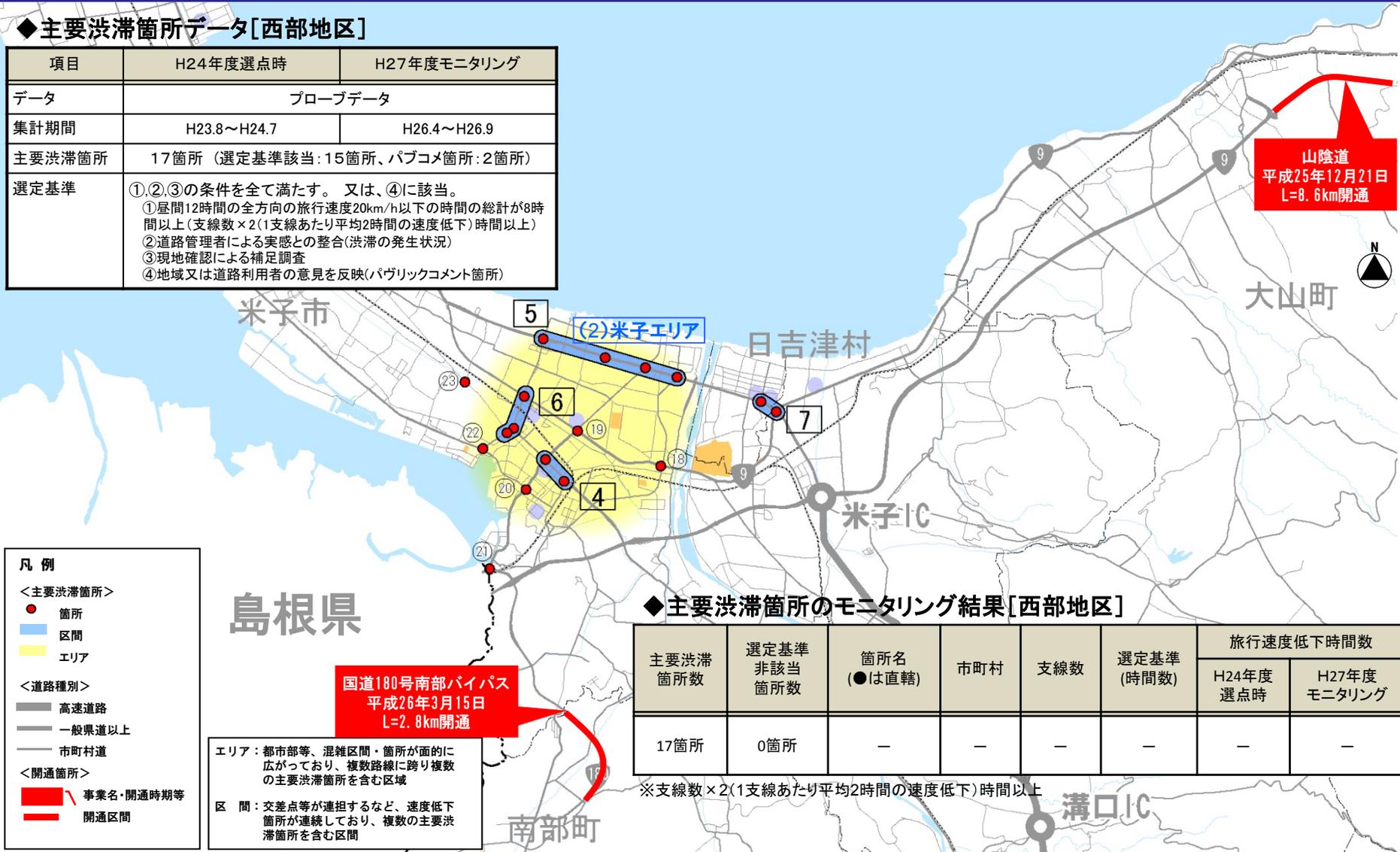
渋滞状況のモニタリング（西部地区）

①モニタリング結果

- ・鳥取県西部の主要渋滞箇所17箇所に対するモニタリングの結果、渋滞状況に大きな変化はなかった。
- ・最新のデータを用いたモニタリングの結果、新たに選定基準に該当する交差点はなかった。
- ・今後もモニタリングを実施し、渋滞箇所の判断を行う。

◆主要渋滞箇所データ[西部地区]

項目	H24年度選点時	H27年度モニタリング
データ	プローブデータ	
集計期間	H23.8～H24.7	H26.4～H26.9
主要渋滞箇所	17箇所（選定基準該当：15箇所、パブコメ箇所：2箇所）	
選定基準	①②③の条件を全て満たす。又は、④に該当。 ①昼間12時間の全方向の旅行速度20km/h以下の時間の総計が8時間以上（支線数×2（1支線あたり平均2時間の速度低下）時間以上） ②道路管理者による実感との整合（渋滞の発生状況） ③現地確認による補足調査 ④地域又は道路利用者の意見を反映（パヴリックコメント箇所）	



◆主要渋滞箇所のモニタリング結果[西部地区]

主要渋滞箇所数	選定基準非該当箇所数	箇所名 (●は直轄)	市町村	支線数	選定基準 (時間数)	旅行速度低下時間数	
						H24年度選点時	H27年度モニタリング
17箇所	0箇所	-	-	-	-	-	

※支線数×2（1支線あたり平均2時間の速度低下）時間以上

凡例	
<主要渋滞箇所>	
●	箇所
■	区間
■	エリア
<道路種別>	
—	高速道路
—	一般県道以上
—	市町村道
<開通箇所>	
■	事業名・開通時期等
—	開通区間

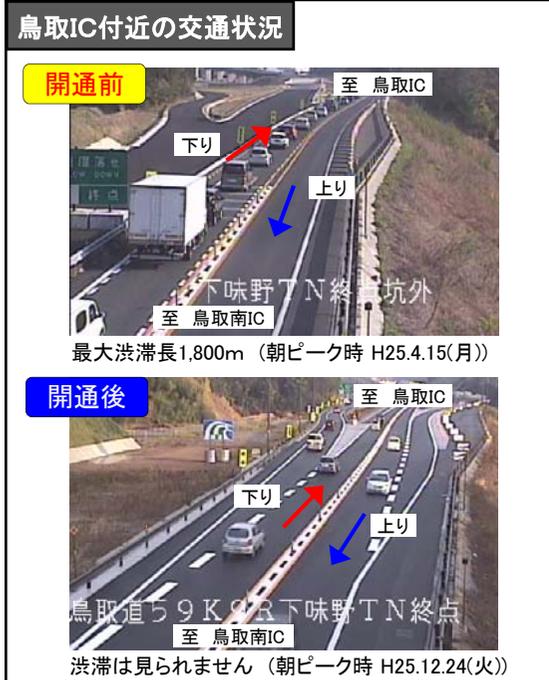
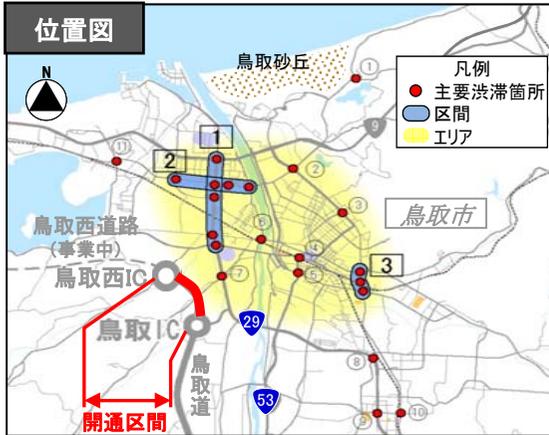
エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域
 区間：交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

3.整備効果の検証(平成25年度完成箇所)

国道9号 鳥取西道路(鳥取IC～鳥取西IC)

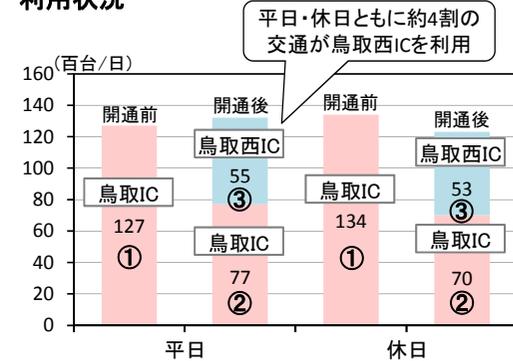
①交通の分散状況

- 鳥取西道路は、山陰地方における広域幹線道路網の一部を形成する路線であり、国道9号の交通混雑の緩和、交通安全の確保等を目的とした鳥取県鳥取市本高から鳥取市青谷町青谷に至る延長9.3kmの自動車専用道路。
- 平成25年12月に鳥取市本高(鳥取IC)～鳥取市嶋(鳥取西IC)間 延長1.8kmが暫定2車線で開通。
- 鳥取西ICの開通により、鳥取ICに集中していた鳥取道利用交通の分散が図られ、鳥取ICを起点として発生していた鳥取道の渋滞が解消。



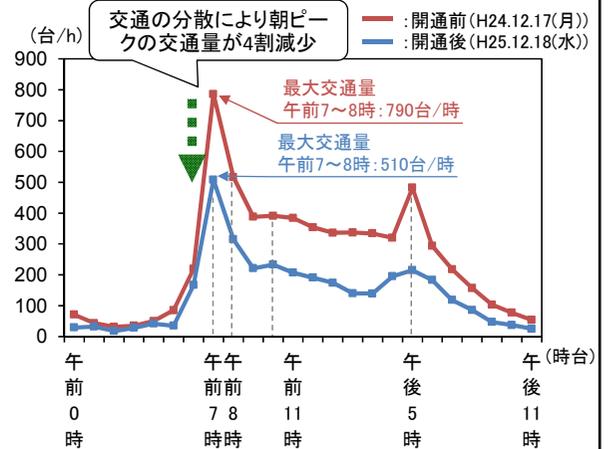
交通の分散状況

◆平日及び休日における鳥取道(下り方面)のIC利用状況



(平日)開通前: H25.11. 7(木)、開通後: H25.12.18(水)
 (休日)開通前: H25.11.17(日)、開通後: H25.12.22(日)

◆平日における鳥取IC(下り方面)時間帯別交通量



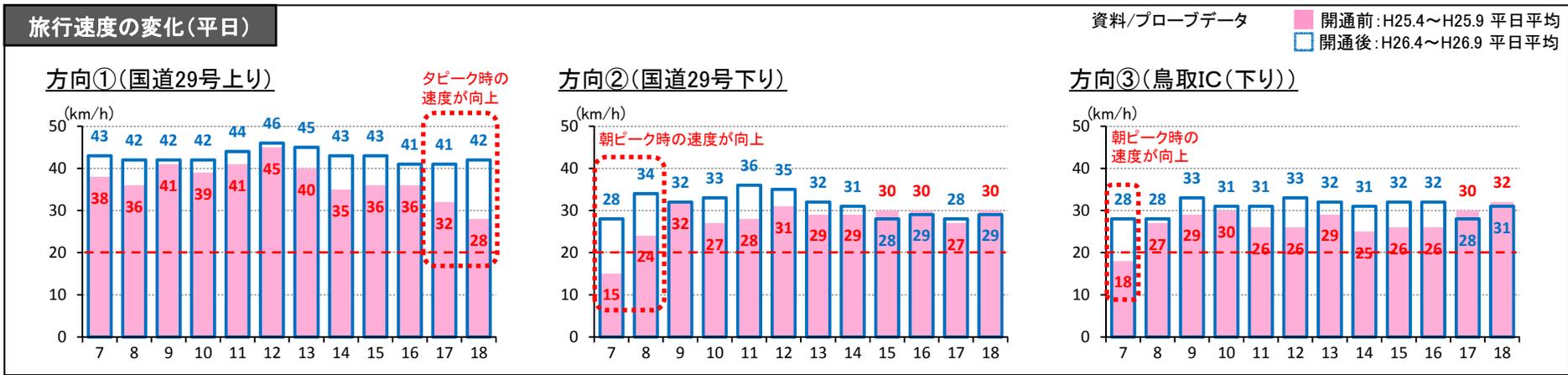
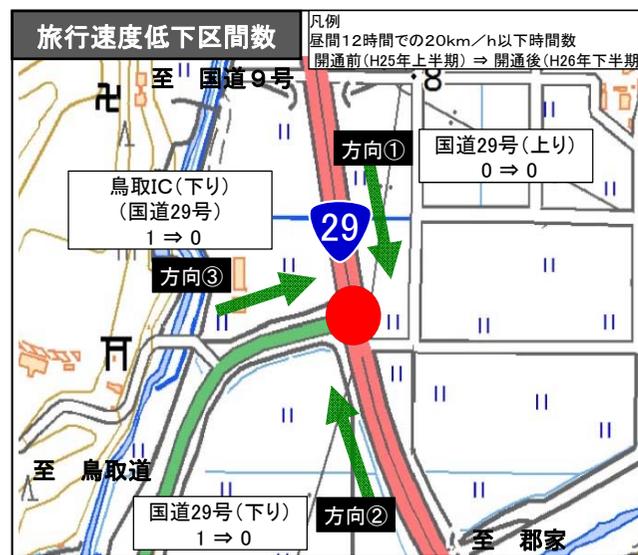
開通前交通量: 「鳥取南IC～鳥取IC間(下り)」交通量(左図①)
 開通後交通量: 鳥取IC(鳥取道下り)交通量(左図②)

国道9号 鳥取西道路(鳥取IC～鳥取西IC) ②プローブデータによる検証

- 鳥取西道路(鳥取IC～鳥取西IC間)の開通により、鳥取道(下り)本線での渋滞は解消したが、鳥取IC(下り)のプローブデータに着目し、旅行速度の変化を検証する。なお、鳥取IC入口交差点は主要渋滞箇所では無い。
- 鳥取IC(下り)からの交通(方向③)は、朝7時台の旅行速度が開通後、大きく向上している。
- 国道29号では、方向②(市内向き)が朝ピーク時、方向③(郊外向き)は夕ピーク時に速度が向上しており、交差点全体の旅行速度が向上。



出典：国土地理院HP（電子国土Web）



- 速度低下(20km/h以下)が生じていた方向②・③の朝7時台において、10km/h程度、速度が向上している。
- 方向①においては、夕方の旅行速度が9～14km/h程度、向上している。
- 交差点全体として旅行速度の向上が見られる。

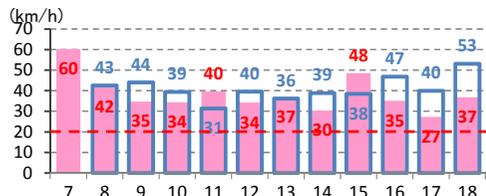
山陰道 (赤碕中山IC～名和IC)

あかさき なかやま なわ

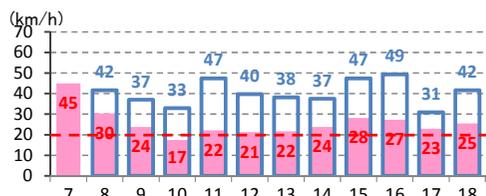
- 山陰道(赤碕中山IC～名和IC間)が開通し、国道9号(現道)等の渋滞(速度低下)が解消・緩和している。
→赤碕中山ICや名和ICの現道取り付け部では、金屋交差点や御来屋交差点の流入または流出方向で「30km/h以上」に改善。
- 国道9号の交通のうち約8割が山陰道に転換し、現道側の交通負荷が軽減されたことによるものと考えられる。



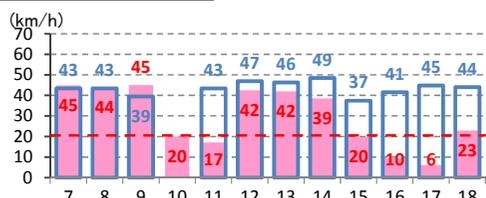
国道9号(上り・鳥取方面)



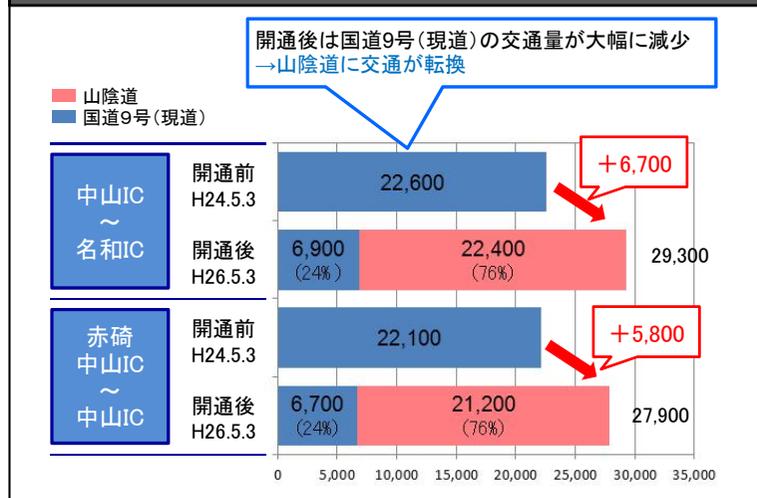
国道9号(下り・米子方面)



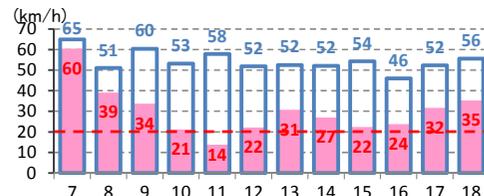
(一)旧奈和西坪線(下り)



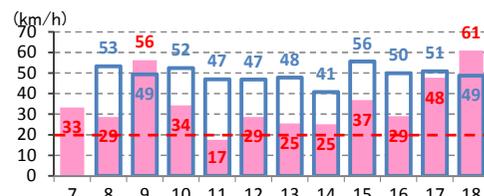
国道9号及び山陰道における開通前後の交通量比較



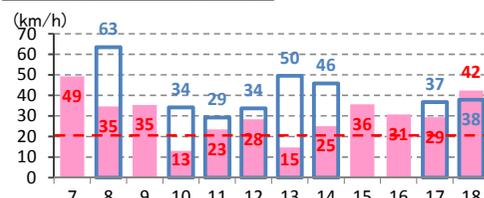
国道9号(上り・鳥取方面)



国道9号(下り・米子方面)



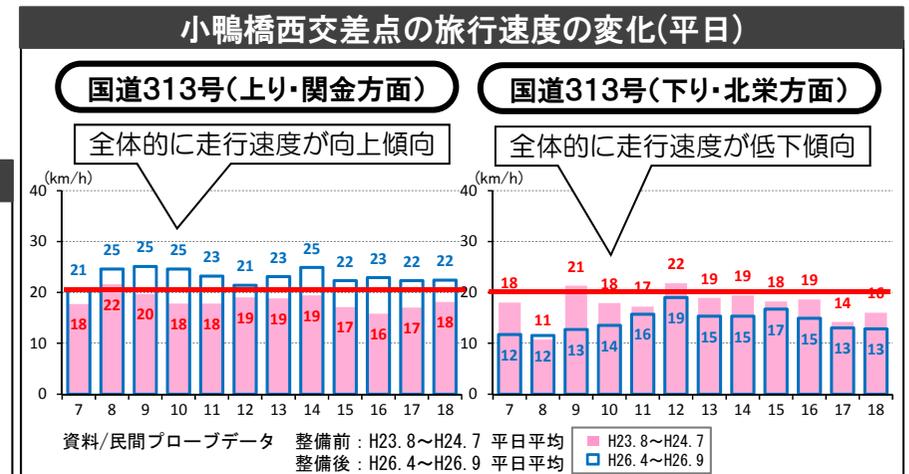
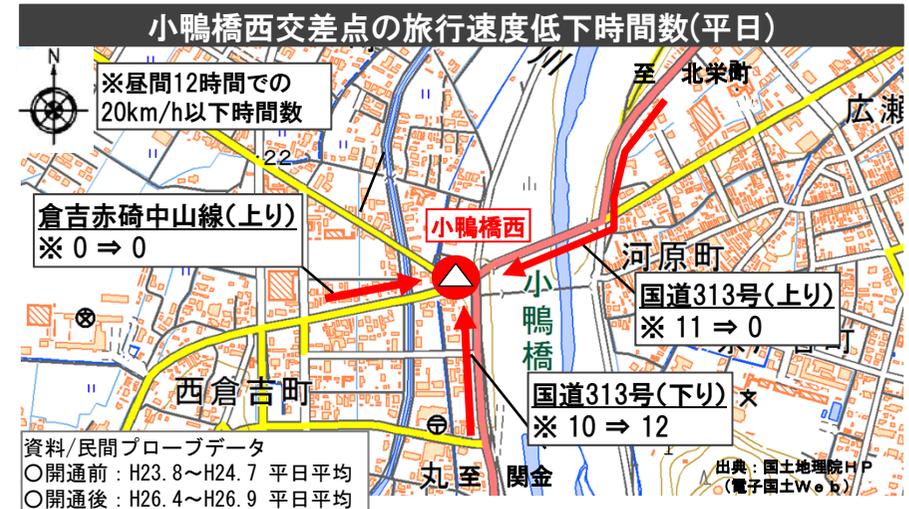
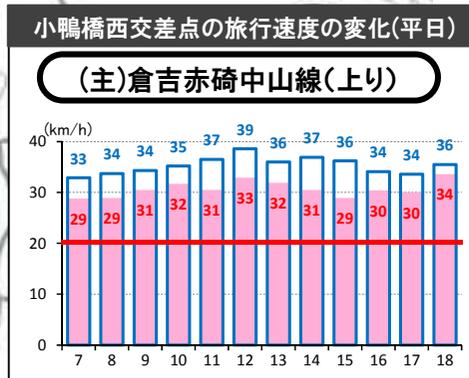
(一)赤碕中山インター線(下り)



資料/民間プロブデータ
■ 開通前: H25.5.3～H25.5.6 平日平均
■ 開通後: H26.5.3～H26.5.6 平日平均

国道313号 倉吉道路（倉吉IC～倉吉西IC）

- ・国道313号倉吉道路は、倉吉市内の渋滞緩和、工業団地へのアクセス改善並びに鳥取県と岡山県の連携強化等を目的とした地域高規格道路。倉吉ICから倉吉西IC間 3.3kmが平成25年6月に開通。
- ・主要渋滞箇所の小鴨橋西交差点では、国道313号(上り・関金方面)及び(主)倉吉赤碕中山線(上り)の旅行速度が、全時間帯において向上した。逆に、国道313号(下り・北栄方面)では、ほぼ全時間帯において旅行速度が低下した。
- ・交差点全体としては、速度低下時間数の合計は減少(21時間→12時間)しており、改善が見られる。



4.ソフト施策の検証

観光地の渋滞対策 鳥取砂丘周辺における渋滞対策の取り組み

- ・鳥取砂丘は、年間約200万人以上の観光客が訪れる県内有数の観光スポットだが、近年減少傾向にある。
- ・GW及び夏季の繁忙期には、砂丘周辺の道路で観光客らの自動車により渋滞が発生していた。
- ・臨時駐車場の増設、シャトルバスの運行、迂回路情報リーフレット配布、情報板による迂回誘導などの渋滞対策により、砂丘入口から国道9号(松江方面)の渋滞が4km(6km⇒2km)に減少した。



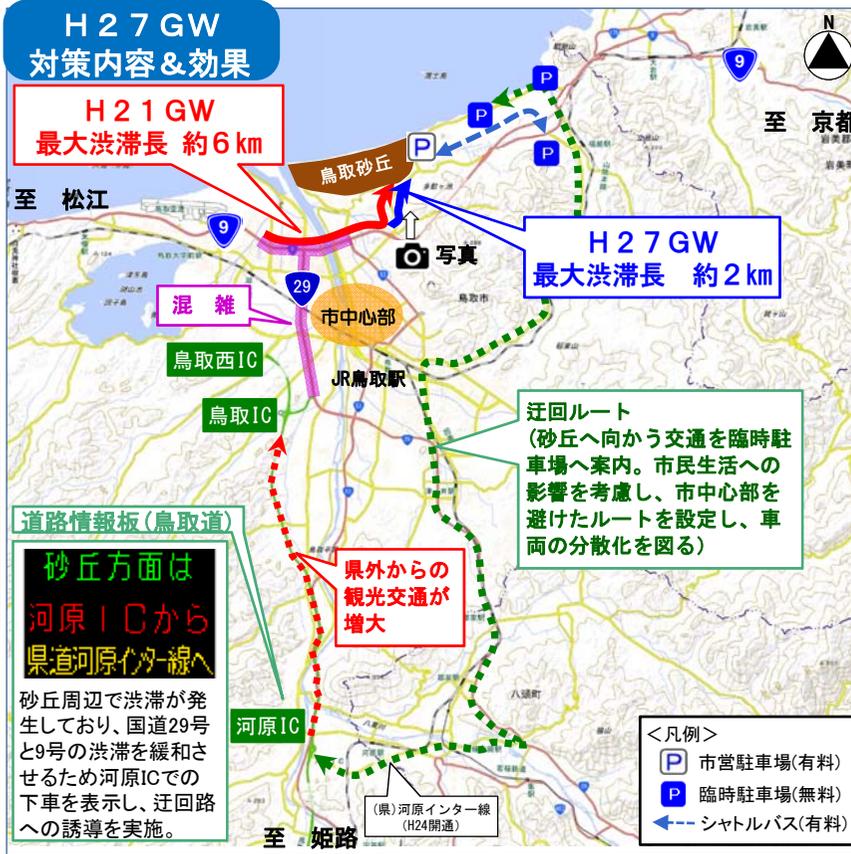
鳥取砂丘周辺の渋滞状況 (H27.5.5)



写真撮影：平成27年5月5日（火）

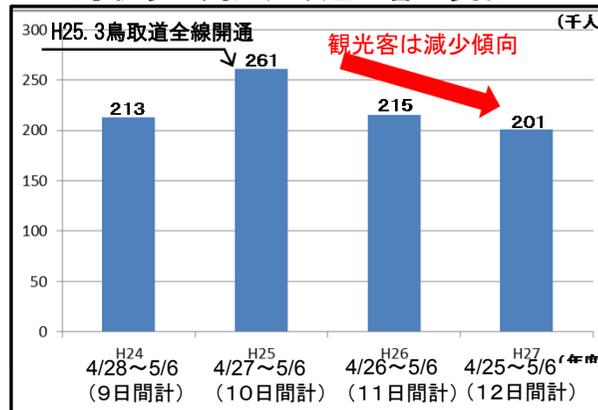
■渋滞対策の推進体制

- ・平成17年9月に鳥取市周辺渋滞対策検討協議会を組織
⇒国土交通省、鳥取県、鳥取市、鳥取県警で構成



最大渋滞長：H21GWの5月4日及びH27GWの5月5日の計測結果

■GW期 鳥取砂丘周辺入り込み客の変化



迂回路情報リーフレット(道の駅、観光施設等で配布)

■渋滞対策

- ①臨時駐車場の増設(H19~)
- ②シャトルバス運行(臨時駐車場発着:H19~、鳥取駅発着:H21~)※H27より有料
- ③迂回路情報リーフレット配布(H19~)、道路情報板による迂回誘導(H22~)
- ④リアルタイム情報発信(駐車場満空情報・砂丘周辺渋滞状況提供サイト)(H22~)

5.ハード施策の取り組みについて

ボトルネック対策①

ふしの かくじ
[県道伏野覚寺線 免許センター交差点改良]

■対象主要渋滞箇所

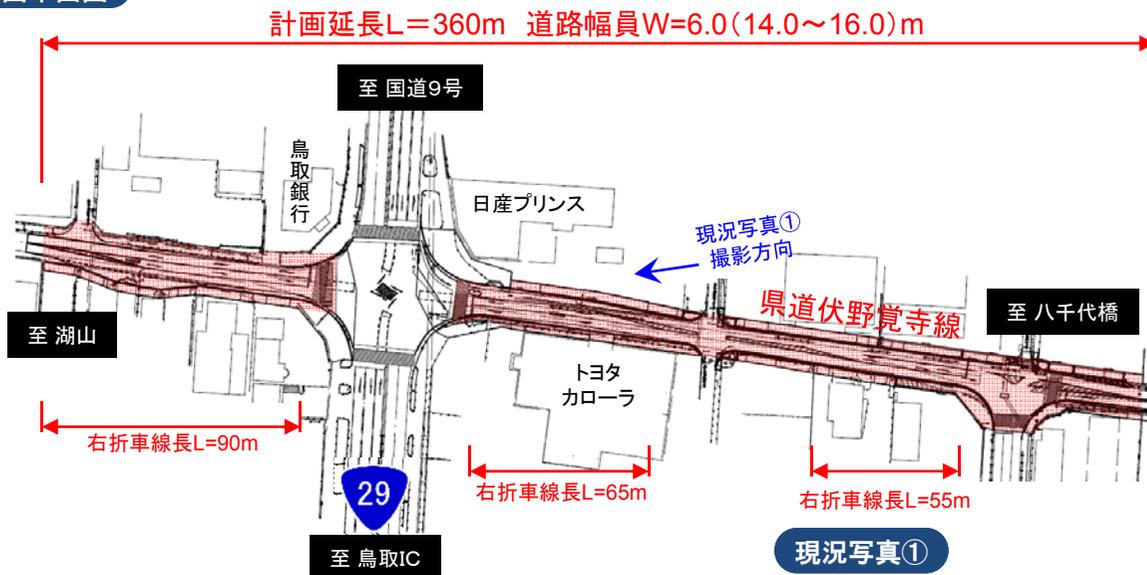
項目	内容
箇所名	免許センター交差点
交差路線	国道29号線 県道伏野覚寺線
渋滞対策の分類	ボトルネック対策

※対象主要渋滞箇所:この事業によって改善効果が期待できる主要渋滞箇所



県道伏野覚寺線 渋滞状況(休日・昼)

計画平面図



現況写真①



標準断面図 付加車線部



1. 渋滞の状況

- 国道29号は鳥取市内を南北に走る主要幹線道路であり、特に免許センター交差点付近は市内有数の交通量。
- 国道9号に並行する県道伏野覚寺線は、沿道に商業施設等が集積しており、自動車交通量が多い路線。
- 国道29号と県道伏野覚寺線が交差する免許センター交差点では、県道に右折レーン等が未整備であり、慢性的な速度低下が発生。

2. 渋滞の要因

- 県道伏野覚寺線に国道29号への右折レーンが未整備。
- 交通量が多い区間であるが、道路幅が狭く、交通容量が不足。
- 沿道店舗から県道への出入り交通が多く、旅行速度が低下。

3. 渋滞対策

- 右折車線等設置 (交差点改良)

渋滞対策

- 整備内容: 右折車線設置(W=2.75m)
- 整備期間: 平成22~31年度(予定)
- 整備主体: 鳥取県

■対象主要渋滞箇所

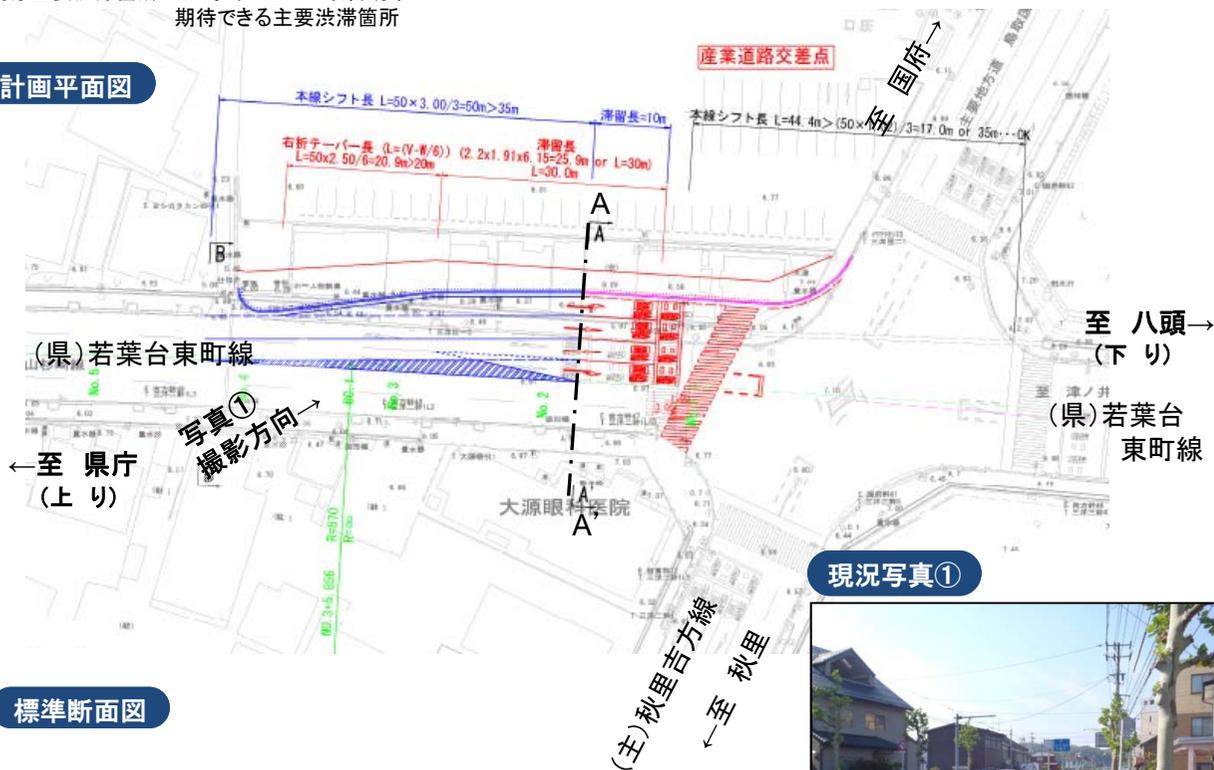
項目	内容
箇所名	産業道路交差点
交差路線	(主)秋里吉方線 県道若葉台東町線
渋滞対策の分類	ボトルネック対策

※対象主要渋滞箇所:この事業によって改善効果が期待できる主要渋滞箇所

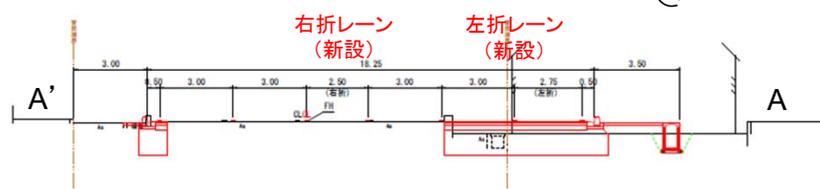


産業道路交差点の状況(八頭方面)

計画平面図



標準断面図



現況写真①



1. 渋滞の状況

- 当交差点は県道若葉台東町線の渋滞ポイント連続区間の南側に位置する。
- 国府町、八頭町方面への主要地方道が交差しており、朝夕の通勤時間帯を中心に渋滞が発生。
- 県道若葉台東町線^{わかばだい ひがしまち}上り車線(片側2車線)に右折レーンが設置されていないことから、右側車線が実質的に右折レーンになっており、片側2車線が有効に活用されていない状況。

2. 渋滞の要因

- 右左折レーンが未設置の交差点であり、県庁方面から秋里方面への右折車両が常に多く、夕方には国府町方面へ帰宅する車両も増加するため、右左折車両により渋滞が発生する。

3. 渋滞対策

- 右左折車線設置(交差点改良)

渋滞対策

- 整備内容: 右左車線設置
(右折W=2.50m、左折W=2.75m)
- 整備期間: 平成27~30年度(予定)
- 整備主体: 鳥取県